

別府大学紀要

第 42 号



目 次

知覚される季節	浅野 則子	1
『蜻蛉日記』考——兼家の魅力——	安 貞淑	9
「宇佐宮記」考証（八）——編者到津公著の事蹟（その一）——	伊藤 勇人	21
自閉症児の自我形成…事例研究	川瀬 泰治	43
<hr/>		
『キュロスの庭園』の歴史性	河野 豊	1
文化財学試論 ——学の構築のための若干の視点——	中村 賢二郎	9
1世紀後半—2世紀初のイタリア大土地所有制 ——ローマ『農書』の再検討——	馬場 典明	31
情報教育システムの改善	岩崎 俊臣	49
足の研究——インド人の足——	坂田 邦洋	71
社会学における歴史主義的意識の位置（上）	松森 武嗣	113
カール・レーヴィットと丸山真男（2） ——学問と政治——	佐藤 瑠威	125
1939年開催の「伯林日本古美術展」をめぐる2点の日本絵画	安松 みゆき	143
自然休養村の展開と地域的特徴	中山 昭則	157
熊本の自閉症児療育学生ボランティア活動の歩み	篠崎 久五・一門 恵子・服部 陵子 鳥岡 信孝・河田 将一・天津 透彦	171
日本語学習者による「のだ」文の理解	石井 容子	183

2000年12月

別 府 大 学 会